

女の歴史 (1963)

メディア 映画

ジャンル ロマン ス ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 126分

初公開日 1963/11/16

【解説】

笠原良三のオリジナル脚本を成瀬巳喜男が監督したドラマ。笠原はモーパッサンの『女の一生』をヒントにシナリオを書き上げたという。

信子は材木問屋の長男である清水幸一と結婚、翌年に功平という男の子を出産した。召集令状を受け取った夫は、信子と六歳になった功平を残し戦地に赴き、そのまま帰らぬ人となった。信子は米を運ぶ仕事に従事するが、収入が少なく貧乏生活を送らざるを得ない。その後、信子は東京近郊で美容院を経営するようになった。功平は車のセールスマンとして働いていたが、信子の反対を押し切りキャバレーの女みどりと結婚した。しかし功平は自動車事故で亡くなってしまふ。信子とみどり、そしてみどりのお腹の中の子供との生活が始まった。

【クレジット】

監督 成瀬巳喜男

製作 藤本真澄

金子正且

脚本 笠原良三

撮影 安本淳

美術 中古智

編集 大井英史

音楽 斎藤一郎

出演 高峰秀子

清水信子

宝田明

夫・幸一

山崎努

息子・功平

賀原夏子

幸一の母・君子

仲代達矢 Tatsuya Nakadai

秋本隆

淡路恵子 Keiko Awaji

三沢玉枝

草笛光子

木下静代

加東大介

飛田

藤原釜足

増田兼吉

中北千枝子

礼一の妻・里子

清水元

幸一の父・正次郎

佐田豊

小出

菅井きん

信子の母・つね

堀米広幸

少年時代の功平

三田照子

信子の叔母

鈴木治夫

信子の兄・礼一

大川秀子
星由里子

まさ
功平の恋人・富永みどり